国別開発協力方針　別紙

対 メキシコ合衆国　事業展開計画

2021年6月現在

基本方針 （大目標）	包摂国家の実現に向けた持続的な社会・経済開発への支援

重点分野１ （中目標）	経済の伸展に伴う社会課題												
開発課題１－１ （小目標） 中小企業支援・地方での所得向上	【現状と課題】 国境を越えた企業のサプライチェーンの構築や日本企業を含む外国企業のメキシコ進出等で、メキシコが米州での一大輸出製造拠点となっており、更なる貿易及び投資機会をもたらすと想定される。その一方で、メキシコ現地部品製造セクターの技術レベルや人材水準が投資側のニーズに及ばず、現地中小企業がサプライチェーンへ組み込まれているとはいえない。より安価で品質の高い部品を供給できる現地中小企業の育成・振興が急務となっている。貫困地域（地方農村部等）は、零細・中小企業や女性の金融アクセスの低さなどが所得向上の障壁を生んでいる。			【開発課題への対応方針】 国内産業、特に中小企業や地方産業の振興は、雇用創出の観点から国民の所得向上に直結するため、地方産業を構成する中小企業の技術力向上および人材育成等に向けた支援を行う。また、貧困地域（地方農村部）では、所得向上に向けた支援を行う。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
					2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
	中小企業支援・地方での所得向上プログラム	大手製造企業を中心とする部品調達サプライチェーンの中に、中小企業や現地の労働力を組み込み、メキシコの産業基盤と地方産業を強化する取組を行う。また、貧困率の高い農村部を含む地方での所得向上に向けた取組を行う。	女性事業者等向けマイクロファイナンス事業	有償							50百万USドル	1,5,8	海外投融資
			自動車産業人材育成プロジェクト	技プロ							6.60	4,8,9	
			自動車産業クラスター振興プロジェクト	技プロ							7.80	8,9	
			品質管理・生産性向上分野のJICA海外協力隊	JOCV								8,9	
			中小企業・裾野産業の競争力強化分野の課題別研修	課題別研修他								8,9	
			農村振興分野の課題別研修	課題別研修他								8	
			スマートフォンを活用した道路の路面性状（IRI等）の記録技術導入に係る案件化調査	案件化調査								8,9	
			自動車産業の補完産業としての梱包材産業振興に向けた普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業								8,9	

開発課題１－２ （小目標） 持続的開発を阻害するリスクの緩和	【現状と課題】 メキシコは、地震を中心とした自然災害が恒常的に発生している。2017年9月に発生した地震からの復興に伴い、災害リスクへの対応能力強化が求められている。また温室効果ガス排出削減などの気候変動対策や環境リスク（大気汚染、廃棄物処理等）低減への取組が求められている。			【開発課題への対応方針】 気候変動を含む地球規模課題（生物多様性の保全、森林減少等）、経済の伸展に伴う環境リスク（大気汚染、廃棄物処理等）、及び自然災害への対策・能力強化に向けた支援を行う。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
					2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
	災害・環境リスク対応プログラム	SDGsや「仙台防災枠組み2015-2030」等の国際枠組を踏まえ、減災・災害リスクに対処し社会の強靭化を図るための取組を行う。	メキシコ沿岸部の巨大地震・津波災害の軽減に向けた総合的研究	科学技術							3.40	13	
			メキシコ災害リスク管理ガバナンス能力強化プロジェクト	技プロ								13	
			メキシコ市における上下水道震災対策強化プロジェクト	草の根技協								6	
			SDGｓグローバルリーダー（防災分野）	国別研修								4,13	
			防災能力強化・災害対策分野の課題別研修	課題別研修他								13	
		気候変動を含む地球規模課題（生物多様性の保全、森林減少等）、経済の伸展に伴う環境リスク（大気汚染、廃棄物処理等）への対処に向けた取組を行う。	持続的食料生産のための乾燥地に適応した露地栽培結合型アクアポニックスの開発	科学技術							3.49	7,12,13	
			太陽光発電事業	有償							100百万USD	7,12,13	海外投融資
			気候変動対策分野の課題別研修	課題別研修他								13	
			自然資源・エネルギー分野の課題別研修	課題別研修他								7,13	
			環境配慮型空調機普及促進事業	普及・実証・ビジネス化事業							0.20	7,13	
			高度生物的硝化抑制（BNI）コムギによる窒素施肥量削減と環境保全	マルチ								1,2,9,13,15	農林水産省国際とうもろこし・小麦改良センター（CIMMYT）拠出事業
			環境マネジメント分野のJICA海外協力隊	JOCV								7,13	

開発課題１－３ （小目標） 社会的弱者支援	【現状と課題】 寿命の延伸に伴い非感染性疾患の患者が増加しているが、これに対応する医療体制は十分とは言えない状況にある。また高齢者人口の増加に伴い2040年には高齢社会を迎えるものの、介護サービス・支援体制は未整備である。			【開発課題への対応方針】 質の確保された医療技術の向上に資する支援を行う。2040年前後には高齢社会を迎えるメキシコにおいて、コミュニティを基盤とした包括介護の仕組みづくりの支援を行う。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
					2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
	医療の質向上・高齢化対策プログラム	寿命の延伸に伴い増加する非感染性疾患の患者に対し、質の確保された医療技術の向上に資する取組を行う。コミュニティを基盤とした包括介護の仕組みづくりの取組を行う。	医療機材供与を通じた保健システム強化計画	無償							5.98	3	UNOPS連携
			新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト	技プロ							6.25	3,9	
			コミュニティを基盤とした高齢者の包括介護プロジェクト	技プロ							0.91	3	
			医療の質向上分野の課題別研修	課題別研修他								3	
			高齢化対策分野の課題別研修	課題別研修他								3	
			野口英世博士地域研究所感染症対策能力強化	現地国内研修							1.93	3	
			SDGｓグローバルリーダー（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ-UHC）	国別研修								3	
			AED普及促進事業	普及・実証・ビジネス化事業								3,4	

重点分野２ （中目標）	域内の知恵の連結性強化（三角協力）

開発課題２－１ （小目標） 域内共通課題への貢献	【現状と課題】 中米北部三カ国の貧困や治安問題等により、米国を目指す移民がメキシコに流入している。メキシコ政府は、「国家開発計画2019-2024」と「エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・メキシコ総合開発計画」を踏まえ、地域開発の安定と発展に取り組んでいく方針を打ち出している。また、新型コロナウイルスの地球規模での感染拡大は、人命のみならず、社会的・経済的にも甚大な影響を及ぼしている。	【開発課題への対応方針】 中南米地域の各国が抱える開発課題・ニーズに対し、メキシコが提供可能な援助リソースとニーズのマッチングを図り、必要な技術協力人材の育成、および援助実施能力の強化等に向けて支援を行う。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	支援額（億円）	SDGs	備考
域内共通課題への対応プログラム	メキシコが提供可能な援助リソースと第三国のニーズのマッチングを図り、効率的・効果的な三角協力を域内で推進できるよう、必要な技術協力人材の育成、および援助実施能力の強化等に向けた取組を行う。	国際開発協力政策支援	個別専門家	■	■	■					9, 17	
		メキシコ南部国境地帯におけるシェルター及び政府移民施設能力強化計画	無償	■	■	■				2.01	1, 3, 5, 6, 10, 16	IOM連携
		サンルイスポトシ州サンルイスポトシ市移民一時滞在施設への中米移民キャラバン等に対する機材支援	草の根無償	■						0.05	1, 10, 16	
		遺伝資源管理	第三国研修	■	■						3, 10, 17	
		中米経済統合のための地域物流ロジスティックスに関する能力開発	第三国研修	■	■						4, 16, 17	
		TRI法に焦点をあてた低侵襲医療技術の普及	第三国研修	■	■						3, 9, 17	
		工芸作物バリューチェーン振興プロジェクト（エルサルバドル向け）	第三国専門家	■	■	■	■	■	■		9, 17	

その他														
その他	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
					2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	日本・メキシコ両国間の相互理解と友好親善の増進を目的として発足した研修プログラムであり、二国間の戦略的関係の更なる深化を図る。	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	国別研修									
	その他 個別の案件		日系研修	日系研修									
			新興国金融行政研修	金融庁技協								9,10,17	
	国民参加型の協力		日系社会支援（経営管理）のJICA海外協力隊	JOCV									
			スポーツ（卓球、野球）のJICA海外協力隊	JOCV									

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「ＪＯＣＶ」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・ＪＩＣＡ以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本ＮＧＯ」（＝日本ＮＧＯ連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、「日系研修」（＝日系研修）、実線「———」（＝実施期間）、破線「－－－－」（＝実施予定期間）
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf